

Touch

タッチ

第48号

編集・発行

春日部市青少年育成推進員協議会

広報部会(粕壁東・西地区)

事務局

春日部市子ども未来部こども政策課内

TEL 048-796-8193

(直通)

地域と家庭 学校の架け橋となって



令和4年度全体会

令和4年11月29日(火)に全体会が行われました。今回は「春日部市の少年非行について」をテーマに、春日部警察署生活安全課の中西俊博(なかにし としひろ)係長よりお話をいただきました。以前に比べて補導や検挙といった数は減少している分、ネット上のトラブルは増えていて、発見や解決が難しいということでした。どんな時でも子どもの変化に関心を持つことが大事であると教わりましたが、ネットの場合は気づきにくいというのも事実です。それでも服装や持ち物の変化、また家庭での会話がなくなるといった態度の変化はシグナルのひとつなのだと感じました。他にもふとした日常の行為が虐待に繋がる可能性もあるということや、子どもとネットについてなどのお話を聞き、これからも家庭だけでなく地域全体で子どもたちを見守る必要性を実感しました。

守りたい良い環境を 子どもたちのために!!

青少年育成推進員って
どんな人？

私たち青少年育成推進員は、「青少年を地域で守りそだてる！」を合言葉に、声かけ・あいさつ運動や有害環境の浄化活動などを通して、地域と家庭、学校の架け橋となつて、地域間の連携を深めることを目的に活動している「地域の青少年育成ボランティア」です。

市内の各地区に担当の推進員があり、子どもたちの見守りや、学校訪問、放課後子ども教室のお手伝いなどを行っています。今回は、私たち推進員から、地域の子どもたち・保護者の皆様へのメッセージをお届けします。

粕壁東地区

●担当学校
粕壁小・緑小・春日部中・
緑中

渡辺 伸江・土屋 美佳
遠藤 節子・池田 耀子

私たちは、粕壁東地区4校の通学区を担当しています。体育祭や運動会を応援させていただいたり、合唱祭を鑑賞させていただいたり、生徒や児童の皆さんが元気に活動している様子を見させていただいています。児童館のイベントや、市内のイベント会場で、啓発品（絆創膏）の配布を行っています。これからも、子どもたちが楽しく学べる場を全力で応援していきたいと思えます。

粕壁西地区

●担当学校
八木崎小・粕壁小・上沖小
春日部中・大沼中

永田 祐子・松坂 和子
大川 寿子・岩下 裕美
吉田 理子

こんにちは 私たちは粕壁西地区の推進員です。毎年、学校訪問の他、子どもたちの現状や地域の課題などについて民生委員や保護司の方たちと一緒に学校の先生からお話をうかがったり、小学校で行われる放課後子ども教室のお手伝いをしたりしています。毎年一番

楽しみにしているのは、「グーカすかべ」で行う、「家庭の日」の普及活動です。夏のグーカすかべのお祭りの際に、啓発のためグッズを配るのですが、沢山の家族連れの方たちが楽しんで遊んでいる様子などを見ることができ、嬉しくなります。コロナ禍でなかなか直接子どもたちや地域の方と触れ合うことが難しい時ですが、少しずつでも子どもたちの日常を取り戻しましょう！



これからは、子育て中のお母さんやお父さんはもちろん、地域の皆様と共に、子どもたちの笑顔を守っていくために活動を続けていきたいと思えます！

内牧地区

●担当学校
内牧小・春日部中

長壁 知子
齋藤真衣子
渡部由宜子
入澤 人美



今はなかなか思った通りの活動ができませんが、きつとまた制限なく活動できる時がくるでしょう。皆さんのすこやかな成長を心から応援しています！！

豊春地区

●担当学校
豊春小・立野小・宮川小
豊春中・大増中

丹伊田久美子・秋元 幸子
山崎 富美男



豊春地区の青少年育成推進員は現在3名で活動しています。コロナ禍で活動が縮小となつていますが、普段の活動として、学校訪問、地区体育祭行事の場所での啓発活動で絆創膏の配布など行っています。今年、学校訪問は、立野小学校と大増中学校の2校にお邪魔しました。校長先生との懇談で学校の様子などの話をうかがってまいりました。学校の授業や行事等でお忙しいにもかかわらず、お時間を取っていただきました。ありがとうございます。

武里地区

●担当学校
上沖小・備後小・正善小
武里小・大沼中・武里中

金重 光江・石川ヤヨヒ
中村記代子・茂木 静子
石川 友和・鈴木 由美
中條 一世・加島 典子



約三年間、皆さんはコロナ禍で、学校生活において色々な制限がかけられ、不自由な生活をいまだに余儀なくされています。そんな中でも文句ひとつ言わず先生の言う事を守り、感染拡大防止対策に協力してくださっていた事を、私たち推進員は知っています。私たち推進員も皆さんとの触れ合いに制限がかけられていてとても寂しいですが、皆さんの学校での良い思い出が一つでも増えるように、これからも地域の皆さんと協力して、児童・生徒の安心安全な学校生活を支援していきます。

地域の宝は誰が何と言っても皆さん、「子どもたち」です。明けない夜は無い。止ま

メッセージ





ない雨が無いという言葉があるように、必ずや当たり前の日常は戻って来ます。その日が一日も早く訪れるように共に信じて頑張っていきましょう！ 私たちは、皆さんの味方です。

幸松地区

●担当学校

幸松小・小淵小・牛島小
東中

増田さとみ・鈴木 京子
佐藤 明子・内山 睦子
清水 明子・新井由美子
高橋るり子

コロナと共に生活するように



なって、もう三年がたちます。マスクをする事に慣れてしまい、我慢することが当たり前の日常になってしまいました。学校生活では不自由なこともたくさんあると思いますが、この体験はこれからの人生にお

いて、決して無駄な時間ではないと信じて欲しいと思います。また、学校の友達や先生、家族や周りの人たちに、ありがとうの気持ちを持って生活して欲しいと思います。なぜなら、優しい気持ちは相手にちゃんと伝わり、その人からも他の人に伝わっていくからです。マスクで顔が半分見えなくても、身振り手振りでも、気持ちはちゃんと伝えられるのです。四月になって、新しい学年、新しい生活が待っています。期待が大きいかな？不安が大きいかな？両方あって良いのです。たくさんの人と出会い、コミュニケーションをたくさん重ねてください。皆さんが自信をもって大きく羽ばたけるよう、応援しています。

豊野地区

●担当学校

豊野小・藤塚小・牛島小
豊野中

渋谷千恵子・西郷 由美
浄閑 和美・粟野江里子
細谷 知恵・横川ひと美
篠原 公子

子どもたちも大きく変化した



ことを放課後子ども教室を通して感じることができました。まず全員が水筒を持参です。そして常にマスク・うがい・手洗いを怠りません。しかし子どもたちはそれを「苦」とせず新しい生活習慣として生活の中に取り入れています。今までは学校の行事、地域の行事、当たり前と思っていたことが、とても楽しみな、そして大切な行事と知ったこと、学校での友達との会話がいかに楽しいかを知った様に思います。

以前より上級生は下級生を労り、下級生は上級生を信頼しているように見受けられます。この三年間皆が忘れなかった事は笑顔です。私達が考えるより子どもたちは強い生命力を持っていてと教えられました。子どもたちの未来に向かうたくましい姿を改めて知らされました。そんな子どもたちを少しでもサポートできたと思っています。

武里団地地区

●担当学校

武里南小・武里西小
春日部南中

矢島 順子・大木 眞嗣
小沼 久代・江ヶ崎聖子
コロナ禍と言われて久しくなりました。学校行事も感染防止のため、家族・保護者でも制限されているのが現状です。地域の私たちは唯一、登下校時の見守りボランティアを通して子どもたちと触れ合う機会をもらっています。コロナにも負けない元気な挨拶と笑顔は、見守り活動の原動力となっています。
11月30日(水)思いがけず「ありがとう集芸」にお招きいただきました。各教室のテレビ画面を通してのセレモニーの後、美味しい給食を「黙食」しました。一人ひとり心を込めたお礼状を綴った「ファイル」をプレゼントされた上、「ありがとうの歌」を響かせてくれました。温かな大歓迎は大切な宝物となりました。



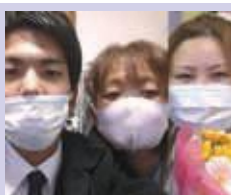
ウイズコロナの今こそ、子どもたちと笑顔で挨拶を交わし合っ
て明るい地域をめざしていきましょ

庄和地区

●担当学校

桜川小・南桜井小
川辺小・中野小・葛飾中
飯沼中・江戸川小中
山田てる美・山田 晃平
新井 聡美

なかなか治まらないコロナ禍ですが、みんなが元気に過ごせることを、楽しみにしています。もう少しの我慢です。みんなで協力して、楽しく過ごせるよう頑張ります。



う頑張ります。



「家庭の日」啓発活動



青少年健全育成講演会

退任にあたって

令和4年度をもって、長年ご尽力いただいた金重会長・矢島副会長が退任されます。退任にあたり、メッセージをいただきました。

感謝と反省

会長 金重光江



三十年以上の永きにわたり、推進員として活動してまいりました。「守りたい良い環境を、子どもたちのために!!」を合言葉に地域と家庭の架け橋となり、連携を深めることを皆で共有し活動を重ねています。

三年前にコロナウイルスの感染者が日本でも発見され、感染拡大防止のために、活動を減らすこととなり、講演会などがオンラインによる動画配信視聴となったことがありました。そんな中ですが、声かけ、あいさつ運動や有害環境の浄化活動、家庭の日啓発活動の絆創膏配布などを通して、続けています。時の流れから事務局は社会教育課から子ども未来部にも政策課に移行となり、市担当職員の方々とともに活動してまいりました。総会、全体会、前市長との懇談や、学校訪問でも心良く受け入れてくださった

こと、三市合同(前四市)研修会、他団体との協力一つ一つがさわやかな雰囲気でした。様々な体験をさせていただいたことや、多くの方との出会いと関わりが、私の宝物となることでしょう。

今後活動される推進員の皆さん、次代を担う子どもたちのためにご活躍を。ありがとうございました。

これからも見守って…

副会長 矢島順子

思い返せば「子どもと関わる役目ですよ」と背中を押され、平成の年に委嘱を受けました。

「地域の子どもは地域で育てよう」の合言葉は心に響きました。様々な活動を通して、実に多くの方々との出会いをいただきました。それらは私自身を大いに成長させてくれました。そしていつも子どもたちの笑顔に励まされてきたように思います。



前列中央：金重会長 左：矢島副会長

地域・家庭・学校の架け橋の一つになれたでしょうか。心強い先輩、後輩の推進員並びに事務局の皆様を支えられて、充実した年月を過ごすことができましたこと、心から感謝申し上げます。

活動報告

- 4・25 令和4年度総会
- 9月 家庭の日啓発活動
- 9・2 青少年育成春日部市民協議家庭の日ポスター選考会
- 11月 学校訪問活動
- 9・22 代表推進員連絡会議(オンライン)
- 11・6 かすかべ郷土かるた大会
- 11・16 三市合同研修会
- 11・26 青少年育成春日部市民協議読み聞かせ公演会
- 11・29 全体会
- 12・18 連携活動事業「親子サイエンスショー」
- 1・20 青少年育成春日部市民協議健全育成講演会

総会

令和4年4月25日(月)に総会が行われました。今回はコロナ禍でしたが、皆で会いたいということもあり、会場とオンラインをつなぐ、初め

てハイブリッド形式の会を開きました。この2年で、オンラインにも慣れ、滞りなく総会を終えることができました。

コロナ禍でも活動をやめない、また新しいことへのチャレンジを止めないという姿勢が大変前向きであり、これからはこの気持ちを忘れないで活動を続けていきたいと改めて感じた、総会となりました。

家庭の日啓発活動

令和4年9月11日(日)グーカすかべのチャリティーフリーマーケットの会場において、家庭の日の啓発活動を行いました。今回も皆さんに絆創膏を配布しました。楽しく、子どもたちを見ていたらコロナ禍を忘れて嬉しくなったのと同時に、「絆創膏って何?」というような質問も出て、思わず笑ってしまう場面もありました。「毎月第3日曜日は家庭の日」薄れつつある家族の絆を大切に、子育てを支える家族や地域の絆の重要性を考える日として、埼玉県が制定しています。少しずつ以前の日常に戻ってきていま



すが、少しでも家族で楽しく過ごす時間が増えることを望んでいます。

親子サイエンスショー

令和4年12月18日(日)

東京大学サイエンスコミュニケーションセンターの皆さんをお迎えし、「親子サイエンスショー」親子で体感!科学の魔法」を開催しました。お父さんが娘の「なぜ?」という疑問に、実験をしながら一緒に答えを見つけていく…というストーリー仕立ての実験ショーです。キットを使った光の実験を子どもたちが実際に体験したり、客席を巻き込んだ大掛かりな空気砲の実験では、子どもたちが実際に打たせてもらったり、楽しくて勉強になる内容でした。

編集後記

今回の特集は、私たち推進員にはどんな人がいるの?という疑問にお答えしたいと思い、各地区からのメッセージを発信してみました。私たち自身もなかなか会えない状況が続いていますが、その中でも地域や子供たちへの想いは変わらないということをお伝え出来たらいいなと思います。